

## 高速増殖原型炉もんじゅの炉内中継装置落下に係る調査状況について

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28万kW）は、現在、燃料交換作業の後片付け作業中ですが、8月26日、原子炉建物において炉内中継装置\*1を取り外す作業中に、原子炉容器内より約2m位吊り上げた位置から落下しました。

その後の調査により、原子炉機器輸送ケーシング（AHM\*2）吊り上げ装置グリッパの爪\*3を開閉する「爪開閉ロッド」が、連結部のU字金具のネジが緩み、約90度回転していたことを確認しました。また、落下した炉内中継装置は、正規の位置に保持されていること及び頂部のファイバースコープ等による観察の結果、欠け・変形等の異常のないことを確認しました。

一方、AHMの2つのグリッパ爪のうち、270度方向に設置されている爪の両端においてずれ痕が、90度方向の爪については、ずれ痕は無いものの、傷が確認されました。

【8月26日、29日、9月2日、3日お知らせ済み】

AHMのグリッパ爪においてずれ痕などが確認されたことから、9月11日、炉内中継装置の頂部（ハンドリングヘッド\*4）のグリッパ爪のかかる2箇所について、前回観察できなかった内側垂直面他をCCDカメラによる観察を実施しました。

ハンドリングヘッド部の270度方向の内側垂直面にすり痕が、90度方向の内側垂直面に細かい筋状のすり痕が確認されましたが、ハンドリングヘッドの内側下面には、すり痕等は認められませんでした。

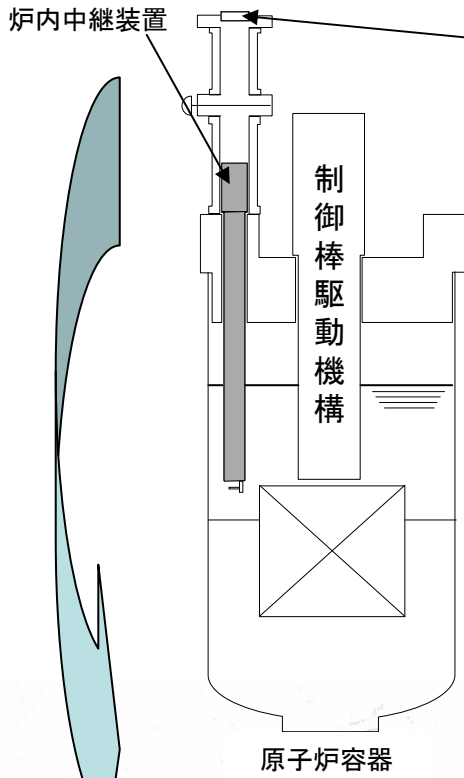
今後とも、安全を最優先に透明性を確保し、炉内中継装置落下に係る調査検討などを継続して行ってまいります。

\*1：燃料交換時に炉心と燃料出入設備との間で炉心構成要素を移送する燃料交換設備の構成機器の一つ。

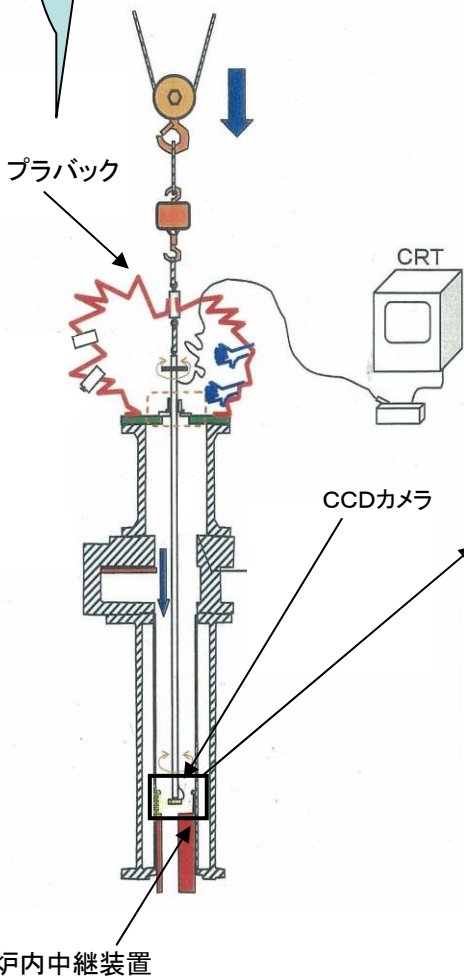
\*2：AHM (Auxiliary Handling Machine)

\*3：グリッパに取り付けてある、炉内中継装置を掴むための爪のこと。

\*4：炉内中継装置を吊り上げ、吊り下ろすため、AHM吊り上げ装置グリッパ爪によって掴む炉内中継装置の上部をいう。



点検窓からの観察写真⇒



90°

270°

⇒ : グリッパ爪位置

CCDカメラ

炉内中継装置  
ハンドリングヘッド部

270°

90° 案内筒ガイド

A B C

D E F

19mm

D(テーパ部)

E(内側垂直面)

F(内側下面)

炉内中継装置上部ハンドリングヘッドの観察結果